



「共産党員は国民の苦難軽減のため私心なく頑張る」と、戦前に活動した市川正一と小林多喜二の不屈のたたかいや、親や兄弟思いの人間

日本共産党香川県後援会は8月25日、高松市で「政治を変える歴史的チャンス 白川よう子さんを国会へ」と、県後援会総会を開き、約300人が参加しました。市田忠義

副委員長が「情勢の特徴と日本共産党の役割」と題して講演しました。市田氏は自民党の裏金問題などにふれ「ひどすぎる自民党政治を国民本位の政治に変えるには副

市田副委員長が記念講演 県後援会が総会



定価 月 100円
発行所
民主香川社
高松市藤塚町
3丁目13-14
☎(087)834-7311

田村委員長の演説会成功を 今度こそ四国から白川さんを国会へ

9月16日
(月・祝)の
午後2時から
田村智子委員
長を迎えて香
川県民ホール大ホールで
日本共産党演説会を開き
ます。

日本共産党演説会

私たちと政治をもっと気軽に、もっと身近に！

白川よう子
四国比例代表

田村智子
日本共産党委員長

石田まさ子
香川県区

さいし孝志
香川3区

日時 9月16日(月/祝) 14:00 開演

会場 香川県民ホール
レクザムホール・大ホール
(高松市玉藻町9-10)

主催 日本共産党香川県委員会 JCP香川

入場 無料

像を語ると、参加者からは感動と共感の大きな拍手が鳴り響きました。白川よう子衆院四国比例、石田まゆ衆院香川2区、笹井たかし同3区の両候補も参加。白川氏は各地の後援会立ち上げや再決起の奮闘に感謝をのべ「目前となつた総選挙でみなさんと力

をあわせ、強く大きな党と後援会をつくり、必ず四国から国会へ駆け上がる決意だ」とのべました。医療・業者・女性など分野・地域別後援会から報告がありました。市田氏も参加した総会後の懇談会では入党決意者が生まれました。

9・16田村智子委員長の演説会の魅力を中谷浩一香川県委員長に聞きました

Q 田村智子委員長を迎えての【2面につづく】

「翻弄」される状況になりそうです。裏金問題や物価高に蓋をして、憲法改悪を企み、大軍拡と戦争する国づくりをすすめる、自民党総裁・首相に誰がなっても、自民党政治が続く限り、国民生活に寄り添う政治は実現できません。いざ総選挙となれば四国から日本共産党の白川さんを国会に送り出し、自民党を「翻

弄」する結果を作りたいものです。こんな台風はあまり聞いたことがありません。熱帯夜が40日連続を超える異常さといえ、地球温暖化気候危機の深まりを感じざるを得ません。

岸田首相の退陣表明を受け、いま自民党総裁は誰がなるのかと「マスコミジャック」と言われる異常な報道が続いています。新しい自民党総裁・首相が選ばれたら、すかさず衆議院を解散すると言われている。自民党の党利党略に国民が「翻弄」される状況になりそうです。

台風10号には「翻弄」され

ました。台風発生時は香川県直撃かと思いましたが、九州に大きくそれ、九州では大きく足踏みして、大きな被害。さらに、九州から瀬戸内海を通って「さあ香川県に来るぞ」と身構えていたら、愛媛県から山を越えて高知県に、そして紀伊半島に……。

2024世界大会in広島に参加して

今年はビキニ被災70年、来年は被爆80年です。2024世界大会は核禁条約の第3回締約国会議やNPT再検討会議を迎える来年以降の世界的なたたかいを構築する上で決定的な年となるでしょう。

大会は広島長崎合わせ8月3〜9日までの7日間。4日の開会総会は各国や日本本の世界の挨拶や報告。そして5日に分科会で、私は香川の平和行進の中で署名に取り組み特に若い参加者との住宅訪問を行い、15日間で345筆を集めた報告を行いました。国際会議決

今回と次回については、先日触れた社会調査による「貧困の発見」の意義とそのもたらしたもののについて、もう少し詳しく見ておくことにしたいと思います。

3 独占資本主義段階…労働運動と社会主義思想の高揚、そして「社会保険」の成立した時代

5 ブースによる社会調査の概要
ブースは、1986年から1990年にかけての17年間、約20名の調査スタッフとともに、ロンドン市民約430万人を、「地域」と「職業」といったカテゴリーで分類し、「貧困線」という概念を導入することによって、「ロンドン市民の約3割が貧困線以下の生活水準で暮らしている」ことを明らかにしました。資本家でもあったブースが社会調査を始めた動機は、当時の社会主義的な団体が発表した「ロンドン市民の1/4が貧困層である」という調査結果について、「その調査結果はあまりにも過大に過ぎないか」と疑問

6 ラウントリーによる社会調査の概要、その①
一方、ラウントリーは、ブースの貧困調査に影響を受け、「地方都市であるヨーク市においてもその貧困の実態を明らかにしたい」と考えて、およそ2年の準備期間を経て1989年に「第1回貧困調査」を行い、1991年に「貧困―都市生活の研究」として発表しました。ヨーク市は、人口約7万5千人の平凡な田舎町だったため



※ ラウントリーの社会調査が社会保障に与えた影響については、まだいくつか触れておくべき点があるのですが、字数の関係で次回、「その②」として追加することしたいと思います。

対象者はブースの調査ほど多くはありませんでしたが、その分詳細な調査を行うとともに、ブースの導入した「貧困線」(生活を維持するのに必要な最低生活費)の概念をさらに一歩進めてその客観性を高めました。

ブースは、困窮者を定義する際の貧困の「基準」を「週給」で線引きしたのですが、これに對しては、「その基準次第で貧困者の割合を変えることが可能で客観性に欠ける」という批判がありました。一方、ラウントリーは、「貧困線」を、人が生きていくために必要な品々を栄養学や生理学などの科学的な面からより明確に定義してライオンナップし、商店でそれらを買った。これは「マーケットバスケット方式」と言われる手法で、後の生活保護基準の算定などにも大きな影響を与えるものでした。



議の中で中心問題となつた、核保有国の「核抑止論」の本質は、「いざとなればロシマ・ナガサキを再現する」と国際会議宣言で明確に述べています。つまり、いざとなれば核兵器をためらいなく使うということなのです。

これからの社会保障を考える 高齢化、人口減少、そして 「大軍拡」の流れの中で ⑮

社会保障のあり方について考える会 準備会 藤井 明